



—夢—

でん

—励み—

えん

—叶う—

おか

田園の丘

天栄村立広戸小学校

学校だより NO. 9号

令和7年10月17日

発行者：校長 先崎真奈美

「150周年記念式典 広小夢フェスタ」参観ありがとうございました

天栄村村長 添田勝幸様はじめ、たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様そして地域の皆様のご臨席を賜り、「創立百五十周年記念式典 広戸小夢フェスタ」を開催することができました。

すべての子どもたちが、学習の成果を出そうと、とても一生懸命に発表していました。子どもたちの活躍する姿とたくさんの笑顔が見られました。日頃から広戸小の教育活動を支えてくださっている地域の皆様にも、感謝の思いを表現することができました。温かい拍手、ご声援ありがとうございました。

これからも、時代が変化しても、本校の教育目標である「知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人間の育成」を目指し、教職員・児童が一致団結し、「日本一なかのよい学校」として日々取り組んでまいります。

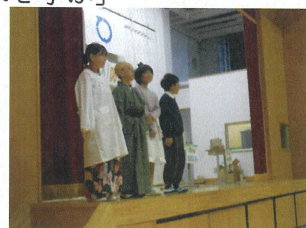
【4年生の発表】「天栄村・・・水の恵み大冒険」



【1年生の発表】「大きなかぶ」



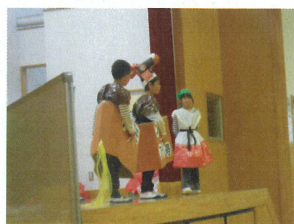
【5年生の発表】「天栄米を学ぶ」



【2年生の発表】「広戸忍者学校 2025」



【3年生の発表】「それゆけ！長ネギマン」

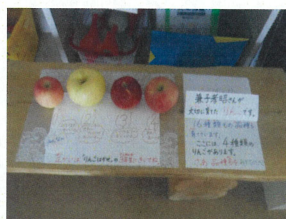


【6年生の発表】「広戸小 150年の歴史にドキリ！」



リンゴの収穫体験 ～世界に一つだけのリンゴ～

10月6日（月）に、3年生が白子にお住まいの兼子孝昭さんのリンゴ畑に行き、りんご農家の仕事について学習してきました。自分の手でリンゴを木からもぎ取るというとても貴重な収穫体験でした。「千秋」という品種は、一本の木から20%ぐらいしか収穫できないため育てるのが大変難しいそうです。兼子さんは広戸小学校の子どもたちにもぎ取らせるために大切に育ててくださっています。子どもたちは心を込めて、リンゴに名前を書いたシールを貼りました。世界に一つだけのリンゴは、色づいたら届けてくださるとのことでした。おいしいリンゴの見分け方や収穫までの仕事などについても、お話を伺いました。子どもたちは、りんご100%のジュースをごちそうになったり、おみやげにリンゴをいただいたりしてとても喜んで帰ってきました。



サツマイモの収穫体験 大きく、おいしく育ちました！

10月17日（金）に、1，2年生が学校のすぐそばの吉田美恵子さんの畑をお借りして植えたサツマイモの収穫を行いました。サツマイモ掘りでは、畑の先輩である2年生が1年生を優しくサポートしてくれました。



畑では、「うんとこしょ。どっこいしょ。なかなかサツマイモはぬけません！」と、1年生が夢フェスタで発表した『大きなかぶ』を『大きなサツマイモ』で演じてくれました。大切に育てたおかげで、大きなサツマイモがたくさん収穫できました。